

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
EU41D203	学校経営プロジェクト (Field Study of School Management)					実習科目											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修	5	2	教育学研究科	通年		氏名 清國祐二、熊丸真太郎、大島崇、山本遼、清松今朝見、佐藤由美子、渡邊英樹											
						E-mail oshima@oita-u.ac.jp, ryamamoto@oita-u.ac.jp 内線 6130, 7526											
授業の概要	実習校(現任校)での観察・体験等とその省察を通じて、実習校(現任校)の学校経営上の課題を明らかにし、課題解決に向けた具体的な方策(学校改善企画書)を構想する。観察・体験における研究枠組みの設定および実習の成果・課題の明確化などを目的とする省察科目「学校経営課題研究」との有機的な連関を図りながら学修を進めていく。その際、必要に応じて、他科目の学修内容を関連づけたり、新たな情報収集を行ったりするなど、理論と実践の往還が図られるよう配慮する。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	スクールリーダーの立場として学校改善の方策を立案できる。																
目標2	立案した学校改善の方策を適切に実施できる。																
目標3	学校改善の方策の成果や課題を適切に評価できる。																
目標4	必要に応じて、学校改善の方策を適宜改善することができる。																
目標5	スクールリーダーに求められる資質・能力について、自らの実践に基づき自己評価できる。																
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	事前指導：「学校経営プロジェクト」での学修を踏まえて「学校改善企画書」を作成し、実習に向けて課題意識の明確化を図る。																
2	実習校(現任校)での実習(200時間)																
3	・現任校の管理職の指導の下、スクールリーダーの職務を観察したり、実際に職務を遂行したりすることで、スクールリーダーの職務や経営行動について理解する。																
4	・スクールリーダーの立場に立って、自らが立案した学校改善の方策を実施する。																
5	・学校改善の方策の成果や課題を評価し、必要に応じて、適宜改善する。																
6	事後指導：実習、学校改善の方策の実施・評価・改善の状況について省察し、自己評価を行う。研究成果として「教育実践研究報告書」を作成し、発表する。																
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラック ニテン イグ	A:知識の定着・確認	現任校での学校実習					工	その 他の									
時間外学修 の内容と時間 の目安	準備 学修	年間を通じた学校実習のため、特になし															
	事後 学修	実習日誌の作成(25時間)、発表会資料作成(15時間)															
教科書	大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻『教職大学院 実習の手引』																
参考書	必要な資料等は大学より配付する。																
成績 評価 の 方法 及び 評価 割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10					
	学校改善の方策についての実施・評価・改善の内容	70%															
	実習日誌や観察記録等による総合的評価	30%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	清國祐二（高等学校教員），清松今朝見（小学校校長・教育行政），佐藤由美子（小・中学校校長・教育行政），渡邊英樹（中学校校長・教育行政）
実務経験を いかした教 育内容	学校現場や教育行政現場での実務経験をもとに，学校経営全般に係る指導を行う